

開催報告：地域コミュニティを考える出前講座 in 会津若松

- 福島県では、小さな拠点・地域運営組織の形成を通じて持続可能な地域コミュニティの共創を目指す「持続可能な地域コミュニティ共創カレッジ(共創カレッジ)」に取り組んでいます。
- この取組の一環として、地域コミュニティが抱える様々な課題に対して、小さな拠点・地域運営組織が実践する地域課題の解決につながっている事例などを紹介することで、持続可能な地域コミュニティを考える出前講座を開催しました。
- 出前講座には、会津若松市内の住民や周辺市町村職員、地域づくり団体関係者など約30名が参加し、西会津町奥川地区で活動する奥川地域づくり協議会の事例発表などを通じて持続可能な地域コミュニティについて考えました。共創カレッジHP▶ 

開催概要

- 日時：令和6年8月2日（金）13：30～15：00
 会場：会津若松市生涯学習総合センター（會津稽古堂）研修室5・6
 内容：① 福島県の取組説明
 ② 小さな拠点・地域運営組織の取組事例紹介
 ③ 事例発表
 発表団体：奥川地域づくり協議会（西会津町奥川地区）
 発表者：事務局長 岩橋 義平 氏



西会津町奥川地区の地域運営組織。令和5年2月設立。

人口約570人、人口減少が著しい同地区を持続可能なものとするために住民有志が設立し、話し合いを重ねながら地域ビジョンを策定。

首都圏の大学生と連携し、交流しながら地域活動を手伝う「未来型結」の取組など、先進的な活動を行っている。

④ 質疑応答・意見交換

- 参加人数：約30名（会津若松市民、周辺市町村職員・集落支援員 など）
 主催：福島県企画調整部地域振興課
 共催：会津若松市企画政策部地域づくり課
 運営：「持続可能な地域コミュニティ共創カレッジ」事務局（みらいくる）

< 出前講座の様子 >



< 参加者同士で意見交換 >



< 出前講座の内容をまとめたグラフィックレコーディング >

